

## 協議事項1 プラントメーカーへの照会における基本条件

### 1 目的

検討対象とする各処理方式の特性や概算費用等について、プラントメーカーに聴き取りを行うため、これまでの検討結果、現施設の稼働実績値、全国都市清掃会議の「ごみ処理施設整備の計画・設計要領2017改訂版」などをもとに基本条件を整理します。

### 2 処理対象

焼却処理施設：可燃ごみ(破碎可燃物含む)

大型・不燃ごみ処理施設：不燃ごみ、大型ごみ

### 3 計画ごみ質

#### 【焼却施設】

			低質ごみ	基準ごみ	高質ごみ
三成分	水分	%	49.3	39.8	30.3
	灰分	%	10.9	10.5	10.1
	可燃分	%	39.8	49.7	59.6
低位発熱量		kJ/kg	7,500	9,900	12,300
単位体積重量		kg/L	0.32	0.25	0.18

#### 【参考】

			低質ごみ	基準ごみ	高質ごみ
元素組成	炭素	%	-	55.03	-
	水素	%	-	7.47	-
	窒素	%	-	1.43	-
	酸素	%	-	35.59	-
	硫黄	%	-	0.01	-
	塩素	%	-	0.47	-

### 4 施設内外の設備(想定)

電気	新設引込み、特別高圧
用水	生活用水は上水、プラント用水は井水
排水	生活排水は合併処理浄化槽で処理後に河川放流、プラント排水は施設内再利用(クローズドシステム)

## 5 公害防止基準

区 分	対 象 物	基 準	備 考
排ガス基準※1	ばいじん	0.04g/m <sup>3</sup> N以下	
	硫黄酸化物	100ppm以下	K値=17.5以下
	塩化水素	430ppm以下	
	窒素酸化物	250ppm以下	
	ダイオキシン類	0.1ng-TEQ/m <sup>3</sup> N以下	
	水銀	30μg/m <sup>3</sup> N以下	
焼却灰・飛灰のダイオキシン含有量※2	ダイオキシン類	3ng-TEQ/m <sup>3</sup> N以下	
飛灰の溶出基準※3	アルキル水銀化合物	不検出	
	水銀またはその化合物	0.005mg/L以下	
	カドミウムまたはその化合物	0.3mg/L以下	
	鉛またはその化合物	0.3mg/L以下	
	六価クロムまたはその化合物	1.5mg/L以下	
	ひ素またはその化合物	0.3mg/L以下	
	セレンまたはその化合物	0.3mg/L以下	

根拠法令

※1 大気汚染防止法

※2 ダイオキシン類対策特別措置法及び廃棄物処理法

※3 廃棄物処理法

## 6 建設候補地の条件



## 7 その他

- ・余熱利用計画 廃熱ボイラで回収した蒸気により、タービン発電を行う予定です。(施設内利用及び余剰電力の売電を想定)
- ・供用開始 平成39年度中